W校中高等部だより

スポレク特集

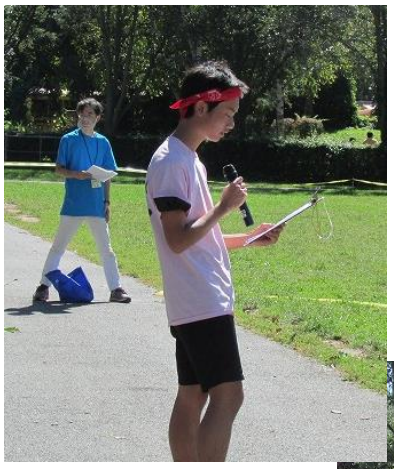
令和三年 ニューヨーク補習授業校W校

対面授業が開始されてから間もない九月二十五日、W校のスポーツレクリエーション大会が盛大に行われました。この日の午後は、よいお天気に恵まれ、参加した中高等部の生徒たちは、半年間のオンライン授業でたまったうっぷんを晴らすかのように、さわやかな汗を流しました。また、生徒たちは、クラスごとに色を決めたTシャツに、各クラスで考えた独特のデコレーションを施し、大会気分を盛り上げました。



競技では、男女混合縦割りハチームに別れ、障害物競走と本気リレーが行われました。それぞれの競技で二つずつのグループに分かれて順位を決め、その後さらに三位・四位決定戦、決勝戦も行われました。

コロナ禍で行われる初めての本格的な、屋外での対面学校行事であったものの、十分な準備や練習ができず、一部の生徒たちとの事前打ち合わせや簡単なバトンの受け渡しの練習ぐらいで臨んだ大会でした。しかし、競技開始直前に設けられた少し長めの作戦タイムでは、高等部のリーダーたちが中心となり、ルールの詳細を説明したり、チーム内のコミュニケーションを深めたりして、士気を高めることができました。





さらに競技中は、生徒たちが思う存分力を発揮する姿、それを懸命に応援する姿、下級生を思いやり、チームを上手く牽引する高等部リーダーの頼もしい姿など、普段の授業では見られない姿がたくさん見られました。それが一人ひとりの感動を生み、全体に伝わり、オンラインでは決して味わえなかった晴れやかな一体感を醸し出していました。

生徒たちが汗をかきながら得たものは、学年やクラスを超えた団結・協力・相互理解、そして、諦めない心。生徒たちにとって、このスポーツレクリエーション大会は、補習校ならではの思い出の一場面となったことでしょう。（佐藤輝高記）

スポーツレク

中等部一年一組　冨岡　せりな

今日のスポーツレクはとても楽しくて、運動会と全然違いました。私は六年生の時に初等部といっしょに踊りなどはできなかったけれど、今年久しぶりに動くことに関係するイベントを行うことができてよかったです。

最初にやった障害物はリレーは六位でしたが、本気リレーより大変だと思いました。後ろ向きに走るのが難しかったです。しかし、ゴルフボールやサッカーボールの方が難しそうでした。ゴルフボールがスプーンの上にのっているとあせってすぐ落ちてしまうことが多かったです。

本気リレーでは、私のチームが一位になれてうれしかったです。チームメートのおかげでうまく走ることができました。もう少し活躍できたらよかったけど、足は引っ張らなかったと思います。また来年のスポーツレクを楽しみにしています。



本気リレー

中等部一年一組　新場　悠正

僕は中等部と高等部の合同運動会で一番楽しかった種目は、本気リレーです。

本気リレーで楽しかった理由は二つあります。

一つ目は抜かした後で、距離を離した後の歓声です。友達からも褒められて、自分のチームからも褒められました。

そして、意外だったのが、泉先生が写真やビデオを撮りながら、

「頑張れー！」

と急にいっていたので、びっくりしました。

二つ目は、思ったより自分が速く走れたことです。一回目はぎりぎりのところで二位になってしまいましたが、二回目は、大差をつけてバトンを渡せたのでよかったです。

スポーツレクリエーション大会に参加して

中等部一年二組　藤澤　綾香

初めて、スポーツレクリエーション大会に参加しました。コロナの影響で、六年生のときは運動会が中止になったので、久しぶりに補習校で体を動かした気がします。私は今年初めて大きなイベントに参加したので、嬉しかったです。

最初はスポレクに参加したくありませんでした。私は運動神経がとても悪いので、チームに迷惑をかけてしまうのではと、不安で仕方がありませんでした。現地校では、体育の時間に運動ができないからといって、チームに文句を言われたことがありました。しかし、私のチーム(黄色)はとても優しくて、私の足が遅くても、「大丈夫」といってくれました。障害物リレーは、意外とうまくできたと思います。スプーンでボールを運ぶとき、スプーンの先に力を入れたため、二ー三回落としてしまいました。しかし、とても楽しい一日でした。



スポーツレクリエーションに参加して

中等部一年二組　五上　菜穂

中等部初めての行事のスポーツレクの競技は、障害物リレーと本気リレーの二種目だけでしたが、チームの皆さんと協力できてとても楽しかったです。

初めの障害物リレーで私は縄跳びを選びました。地面が芝生だったので少し飛びにくかったけれど、あまり引っかからなくて良かったです。障害物リレーの結果は黄色チームで三位だったので嬉しかったです。障害物は四つあり、サッカー・縄跳び・ゴルフボール・後ろ歩きがありました。縄跳びは小さい頃から得意だったので楽しめました。本気リレーではトップスリーには入れませんでしたが一生懸命チームで協力できたので楽しかったです。初めの四組で走ったときは三位で準決勝では一位だったので嬉しかったです。六年生のときはコロナウイルスの影響で運動会はできませんでしたが、中高等部で協力して初めてのスポーツレクを成功させられて良かったです。

来年もまたこうやって中高一丸となってスポーツレクがしたいと思いました。クラスごとのTシャツのデザインを考えるのも楽しかったです。私の中等部最初の行事はとてもいい思い出になりました。

初めての行事

中等部二年一組　二階堂　健



２０２０年の冬に編入してから、およそ一年オンラインで勉強しました。スポーツレクや運動会、球技大会などの話を聞いた時、やってみたくてしょうがなかったです。そして、ワクチンが出た時に一番最初に思ったのは、「補習校で対面授業できるかな。」「スポーツレクとかやるのかな。」ということでした。

そして、対面授業ができる、スポーツレクができると聞いた時に、僕は喜びでいっぱいでした。そして今、スポーツレクが終わった後、僕は皆に伝えたい気持ちや思い出がたくさんあります。

僕は紫チーム。知っている友達はたった二人。うまくレースができるかで緊張していました。自分の足の速さに自信がなく、チームメイトのチームワークに頼ることしかできませんでした。そして僕はそこに立っている。障害物リレーの一番手。サッカー。そしてリレーが始まると、僕は「チームに良いスタートをあげなきゃ！」と思いながらドリブルしました。僕は、相手と同時にバトンタッチをしました。そこからは、皆の努力で二位をとり、決勝戦に入ることができました、決勝戦も同じく、僕が一番手。しかし、今度は、ボールが相手とぶつかり、コースから出てしました。僕は三位でバトンタッチしましたが、悔しかったです。だが、皆が一生懸命に努力し、決勝戦で優勝することができました。

最後に本気リレー。障害物リレーで喜んでいましたが、皆が疲れているせいか、本気リレーでは最下位でした。チームでは、「本気リレーで最下位取ったことは、テストでいうボーナスの問題を解けなかったことと似ているね。」

緊張、喜び、悔しさなど、たくさんの気持ちであふれた初めての補習校での行事でした。そして、このスポーツレクから学んだことは、足の速さに自信なくてもチームとしてやると成功できるということです。

中高等部の熱い戦い

中等部二年一組　千田　真路

雲のない青い空。太陽が近くなったと感じるほどの暑さと明るさ。スポーツレクリエーション大会の開幕に相応しい状況がそろったこの土曜日に今まで体験したことのない戦いが始まりました。

朝はいつものように数学と国語を勉強し、昼食を食べました。教室に戻り五時間目を開始すると思いきや、水筒とクラスTシャツを持ち、外へ出ました。フィールドに出ると、数時間前に行われた小学生の運動会の徒競走のコースと用具が置いてあり、先生たちが急いで中高等部のために用意していました。

その後各チームに分かれ、誰が何をどの順番でするかを作戦会議で決めました。僕のチームの色は黄色で知らない人だらけでしたが、二組の永井くんがいたので少し安心しました。作戦会議が終わり、役目が決まった所で障害物競走が始まりました。僕はこの競争では後ろ向き走りをやりたいと言い、自信があると言ってしまったためアンカーになってしまいました。

いよいよ競技開始です。まずは自分のチームの他に三チームで競走をしました。この試合は一回戦で上位二チームが決勝進出になります。チームメイトから早めにバトンを受け取り、簡単に僕がゴールをすることができ、一位で勝利することができました。他の四チームの一回戦が終わるまで体を休ませ、決勝戦開始を待ちました。決勝戦では相手が早く、惜しくも三位でした。

次は本気リレーです。リレーは障害物競走ほどうまくいかず、三位でゴールしました。上位二チームに入ることが出来なかったので、五、六位決定戦にのぞみました。一回戦後に作戦会議をして、走る順番を変えてのぞんだので、結果は一位でゴール！全体の順位は五位になりました。

競技が全部終了して、帰る時間になりました。コロナの間、このような学校で楽しめる機会がなく、授業だけでつまらなかったけれど、このようなイベントがあることで補習校はつまらなくないと確信できました。

トラブルが発生する行事

中等部二年二組　村越　奏太

九月二十五日、今日の五・六時間目にスポーツレクリエーション、略して「スポレク」があった。これは、私にとって初の補習校のイベントであった。スポレクでは、障害物競走、本気リレーの二種目を行なった。その中でも私は、本気リレーがとても心に残っている。

なぜなら、本気リレーでは、とてもトラブルが多かったからである。なにせ、このスポレクは事前に練習どころか、顔合わせが当日ということだったのでとても驚いてしまった。本気リレーの予選ではしっかりと走順を決めていなかったために、リレーが始まってから急に走順が変わるなどして、チーム全体が混乱してしまった。

予選の反省から作戦会議をし、次のレースではしっかりと走順をチームで確認した。そのため、走順が大きく変わったのにもかかわらず、予選よりもスムーズに走ることができた。私は、アンカーの一つ前を走ることになっていた。そしていよいよバトンを受け取った。

「ああ、アンカー、頑張ってください、あれ?アンカーがいない!」

なんと重要なアンカーが、バトンを渡す地点のどこにもいなかった。私は焦ったがとりあえず走ることにした。前半の五十メートルを本気で走っていたので、結構な体力を消耗していた。しかし、なんとか走り切ることができて、二位とまずまずな結果だった。

初め、私はただ五・六時間目の授業を受けるよりはマシかという思いで参加したスポレクだったが、私の初めての補習校の行事は、トラブルだらけの、でもとても充実した楽しい思い出となった。



運動会の思い出

中等部二年二組　猿渡　快成

九月二十五日、ぼくは補習校の運動会でチームワークの大事さを知りました。朝の会でチームが発表されたとき、中村先生のチームだったので一安心しました。うれしかったのは村越君と同じチームだったことです。これは仲良くなるチャンスだ!と思いました。なので、運動会が待ち遠しくて、午前中から授業でふざけまくっていて、二×三を五とか言いながら楽しんでいました。

運動会では、ずっと村越くんと話していました。最初のころは静かでちょっと話すくらいだったけれど、最後にはすごく仲良くなれてよかったです。

最初、運動会は二つしか種目がないと言われたときは、とてもがっかりしました。しかし、障害物競走が意外と楽しかったので、驚きました。後ろ向きのアンカーをやれたのがうれしかったし、まさか一位でゴールできると思わなくて、白テープを通り越したときはとても気持ちよかったです。四年ぶりの運動会で緊張しましたが、いい思い出を作れた一日でした。

スポーツレクリエーション

中等部三年一組　井口　享俊

今日、九月二十五日は中高等部、合同でスポーツレクリエーションをしました。競技は障害物競走と本気リレーの二つがありました。

僕は選手宣誓をやる係に選ばれて開会式が始まるまではずっと緊張していました。ですが、いざ皆の前に立ってみると、他の生徒たちには背を向けていたので、思っていたより平気でした。

そして、本番では緑グループに入りチームメイトと一緒に競技を楽しむことが出来ました。障害物リレーではハグループ中七位と、悲惨な結果でした。しかし、本気リレーでは予選と決勝で両方一位を取ることが出来ました。多分勝つことが出来た大きな原因は、グループの人数が少なかったことだと思います。人数が少ないとバトンを渡す回数が減るので、減速する必要がなくなって、リードを取ることができました。

このスポーツレクリエーションはとても楽しかったので、今度はもう少し競技を増やしてまたやりたいです。

スポーツレク

中等部三年一組　岩﨑　莉奈



先週、九月二十三日にスポーツレクがありました。

今回のスポーツレクは、チームに分かれて、障害物リレーと本気リレーを行い、順位を争うという形で行われました。私はピンクチームで、同じクラスの中では、渡辺さんが同じチームだったのでとても心強かったです。

最初の種目の障害物リレーでは、縄跳びを選択しました。縄跳びは久しぶりだったので少し不安でしたが、一回戦は少しつまずいたものの、決勝戦ではほとんどひっかからずに最後まで跳べて、私たちのチームの最終順位は、全体で二位だったので、少しチームに貢献できて良かったです。

一つ目の種目の本気リレーでは、一回戦、なんと、二回走る子が、一人来るのが間に合わなかったようで、急きょ私が、本来の出番より早く走らなければいけませんでした。私は、今何番目の人が走っているか把握するのが苦手なため、私の前の人を覚えていたので、覚えていた人と違う人なのに、先生に、

「早く出て！」

と怒られて、とてもとまどいました。しかし、二回戦は、作戦会議で順番を入れ替えたおかげで、しっかり自分の順番の時に走れて、頑張って走ってなんとか他の人にぬかされずに、次の人へバトンを渡せたのでとても安心しました。走り終わって友達の所へ行ったら、

「お疲れ様！」

と言ってくれて、とても嬉しかったです。

結果は、障害物リレーも本気リレーも、総合二位で、チーム皆で喜びました。

今回のスポーツレクは、久しぶりに運動する機会になったし、三年一組の友達とも、仲良くなれたので良かったです。

みんなで楽しんだスポーツレクリエーション

高等部一年一組　寺門　澪

補習校がリモートではなくなり三回目の登校日に、私たちは小運動会、スポーツレクリエーションを行いました。スポーツレクでは障害物競争と本気リレーがあり、緑、オレンジ、ピンク、黄色、青、紫、黒、と白の八チームで順位を競いました。私は司会と紫チームのグループリーダーになりました。私は自分がマイクの前できちんとしゃべれるか、グループを指揮できるか不安で頭が一杯でした。

私のグループはユニークでみんなと作戦を考えたり、応援するのが楽しかったです。作戦会議では誰が最初で誰が最後がいいかとみんなで頭を捻りました。障害物競走ではそれぞれ得意な種目を選び、結果一位になりました。一回目の障害物リレーでは決めた順番を覚えていない生徒がいて、順番が来ているのにスタートラインについていないというハプニングもありみんなで名前を呼んで、探しました。結構リードしていたので、2位との間には余裕があったのですが、焦りました。

本気リレーでは早さに自信がない人が先に走り、早い生徒を最後にしました。本気リレーでは勝てませんでしたが、みんなで励ましあい、応援しあいました。特に今は、大きな声をだしたり多くの人達としゃべれない状況です、その中で自分のクラス以外の生徒たちと話すことができて楽しかったです。

コロナ禍のなか、みんなで楽しめるイベントになりました。これからもこのような行事が多くあれば良いと思います。



他学年交流とスポーツレク

高等部一年一組　二階堂　淳

僕はW校の生徒として結構新人だ。一年も経たないうちに大きな行事に参加し、これからも「のみの市」のような補習校にとって独特な行事に関わっていく。

今回参加したスポーツレクは昔通っていた日本人学校のものとはまた違った小さな運動会のようだが、随分とちゃんとしたものだと思った。日本人学校では平日に毎日学校に通い、運動会の練習の時期が来ると、毎日のように開会式から閉会式まで一つ一つの動きを確かめていた。しかし、補習校では週末一日しか会うことが出来ないけれど、きちんと開会式から準備運動、閉会式までそれなりに出来ていてびっくりした。



他の補習校の生徒にとって久々の大きな行事かもしれないが、僕にとっては補習校の生徒としての初めての行事だった。雲少ない青空の下、寒くも暑くもない丁度良い気温に恵まれながら芝生に座り、チームメイトと一緒に少ない時間でも一位になるために熱心に障害物リレーと本気リレーの順番を決めたことや、励まし合いながら応援したことが思い出になった。

日本人学校では毎日のように他学年と交流していたが、コロナの影響もあり、補習校ではあまり他学年と交流する機会がない。なのでこの数時間の他学年と一緒の交流時間は大切な時間だと感じた。またこのような他学年と一緒の交流をしていき、W校の生徒たちと仲を深めていきたい。

楽しい運動会

高等部一年二組　元吉　真央



先週の土曜日は久しぶりの運動会でした。

コロナでズーム授業をしている間、私が一番補習校の皆と行いたかったイベントが運動会だったので、とても楽しかったです。しかし、本当をいうと運動会の始まりでは少し不安でした。中高等部は人数も初等部に比べると少ないですし、私はチームリーダーだったので、知らない生徒たちと楽しく運動会を盛り上げることができるか、わかりませんでした。けれど、運動会が始まると今まで見たこともないぐらい本気を出す生徒がいたり、先生方も色とりどりのTシャツを来て生徒を応援しているのを見て、私も心配が吹っ飛びました。

運動会の日は晴天で、太陽の熱にも負けず皆が笑顔で体を動かしていたので、応援している方も全力で応援していました。あまり喋ったことのない同学年の生徒ともたくさん喋ることができたので、学年だけとしてではなく、学校として一丸となることができたと思うので、とても楽しかったです。やはり、コロナの補習校の一時期なブランクで、私と皆の補習校との絆は少し薄れてしまっていたと思うので、運動を通して楽しく学校の活気を取り戻すことができ、とても幸せでした。

高等部一年二組　シュウルツ　あや



この一年半の間、私たちは子供時代に経験するはずの、すごく大切なことを全然行えなかったのでした。それは、他の人たちと実際に話したり、笑ったり、残念に思ったりすることです。そういう機会が少なかったので、このスポーツレックが行われると聞いたとき、ちょっと躊躇しました。この一年半の間できなかった、知らない子供たちと遊んで話すことがもうできるのか、と私は疑問を持ち始めていました。さらに、私は高校生ということで、スポーツレックのグループリーダーをやることになっていました。前回の補習校のイベントに参加していたときは、中学三年の前半でした。なのにこの私が今、本当にリーダーとしてきちんと働けるかも心配でした。

けれど、実際の大会が始まったら、その心配はなくなりました。スポーツレックが始まり、私たちはすぐにグループわけし、本気リレーと障害物競走の順番を決めていきました。この間私は緊張していたので、話す余裕がありませんでした。でも、私の友達である、グループの高一メンバーの一人が力を貸してくれたおかげで、皆できちんとした話し合いをすることができました。

基本的に私は百％日本人の同級生や日本に住んでいた同級生と比べて日本語が無茶苦茶であることは自分でわかっています。なので現地校ではリーダーとして働けても、日本語で同じ仕事をしなければいけないということになると、緊張して無理があるのです。なので、私にこういう責任を与えてもらえたことにすごく感謝しました。このグループ全員が一人の責任ではなくなり、さらに友達に手伝ってもらったことで、もっとリラックスでき、簡単に会話をすることができました。みんな、他のみんなを応援したり、負けていてもプライドを持って大声で

「やったー」

と叫んだりしました。最後には、気まずいこともなく、みんなで話し合えていたことで私は笑顔になりました。

この作文の最初で言ったように、コロナのせいで私たち子供は知らない人と喋る機会が少なくなっていたのでこの話す機会をみんな渇望していたことがわかりました。そしてその機会があっても、話すのに不安を持つ人もたくさんいたと思います。なので、意図せずに私のグループが一人のリーダーではなく仕事を分担したことは将来の良いレッスンになったのだと思います。リーダーシップを学んで発揮する時間が少なかった私たち上級生は、一人に責任を持たせるのでなく、みんなで分担した方が良いのだと感じさせられましたスポレクでした。

高等部二年一組　コウエン　ダリアス

午後の二時間を使ったスポーツレクはとても楽しかったです。一年以上補習校が閉まっていて、補習校で一番楽しい球技大会やのみの市などがなかったので、久しぶりにみんなで活動できたことはとても良かったです。

僕達は、高二なので色々と頑張らなくてはいけないと思っていましたが、できることは頑張ったと思います。準備や片付けをやる気がありましたが、先生や大人の人がやってくれていました。そこはもっと自分たちにさせてくれても良かったと思います。

僕達のクラスは三人しかいないので、こういうことで大勢で活動するのはとても楽しかったです。チームのメンバーは知らない人ばかりでしたが、普通に一緒に頑張ることができました。クラスメートの他の二人はチームは違うけれど二人ともとても頑張っていて嬉しかったです。

競技は練習することはできなかったので、勝っても負けても二回ずつでき、一回目にうまくいかなかったりしたことがあっても、二回したことでもっと楽しめました。全員が二回ずつ同じ競技をすると言うルールはとてもいいアイディアだと思いました。

今までは、こういう活動があると「楽しかった」と思いましたが、今はそれプラス「スポーツレクをさせてくれた先生、ありがとうございました。」と思います。前までは、中高は運動会がなかったので、運動会に中高を参加させることにしたこと、コロナで大変なのにスポーツレクという新しいアイディアにしてくれたこと、本当に良かったと思います。またこういう活動があると思うので、頑張って楽しみたいと思います。



僕は最高学年だ、リーダーだ

高等部二年一組　入江　仁悠



素晴らしい天候に恵まれ迎えた運動会の代わりのスポーツレク大会は大成功だった。みんなにとってはとても久しぶりの行事であり、僕にとっては補習校生活初めての行事であった。三人しかいない高校二年生で中高等部をどうまとめればいいか心配な部分もあったけど、実際本番をやってみると思ったよりも上手くいったのでリーダーシップもしっかり発揮できたと思う。たったの二時間くらいだったが二つ のことを学ぶことができた。

一つ目は最上級生としてのリーダーシップを発揮することだ。リーダーシップを発揮する中でもさらに二つのことを実感した。一つは日本でも同様に難しいまとめる力だ。中学一年生は特になかなか指示を聞かない子も多く、的確で分かりやすい指示が必要だった。もう一つは日本ではおそらく実感できない言語の難しさだ。アメリカにある補習校で日本語があまり上手ではない生徒も多く、競技の説明や走る順番などを決めるときに難しさを感じた。

二つ目は交流の大切さだ。オンラインから登校に移り変わり、高二のメンバーとも初めて顔合わせをした。同じ時間でもオンラインよりもずっと楽しい時間だった。Tシャツ作りではみんなの絵を描くことで一人一人の個性を出せた。そしてスポレクを迎え、同様に他学年とも深く交流ができた。十一月の蚤の市に向けて、補習校全体としてもいい顔合わせが出来たから、次は蚤の市委員同士で意見が言い合えるようになれれば最高だ。

ただ少し反省する点として準備不足があったと感じた。なかなか事前に打ち合わせや説明がなかったから、いざ本番で戸惑うことも多かった。また、今回は短い時間だったから困惑する場面も少なかったと思うが、蚤の市ではしっかり説明や準備をしないといい行事ではなくなってしまう。

初めてでみんなそれぞれ緊張があったが、自分の役割を果たすことができた最高のスタートになったスポレク大会だった。

生徒会長としてのスポーツレクリエーション

高等部二年一組　井澤　幸平

二〇二一年九月二五日、ニューヨークW校、対面授業三回目は中高生全員を巻き込んだ運動会に代わるスポーツレクリエーションが行われました。これは対面授業を開始以来初のイベントです。そして開会式では校長先生と共に生徒会長の挨拶があるのです。このイベントで僕は初の生徒会長としてのイベントを経験しました。

生徒会長となって六ヶ月、対面になっての初仕事はとても緊張しました。元々人前で話すのが苦手な僕ですが、それを克服する意味でもとてもやりがいのある仕事だと思いました。オンライン上での会議やスピーチは画面に語りかけているだけなので特に苦手ではありませんでしたが、対面になると苦手意識が全面的に現れ、緊張でうまく話せません。スポレクの前に行われた会議では緊張してしまい何度か噛んでしまうことがありました。なのでスポレクの開会式でのスピーチでは噛んでしまうのではないかと心配でした。スポレクの挨拶は多くの保護者や教師、後輩達にも見守られる中行われたのでなんども自分の中で繰り返し行い無事本番を乗り 越えることが出来ました。

このスポーツレクリエーションは先生方が感染拡大対策を考慮した上で提案した運動イベントで全学年の生徒を混ぜ合わせたハグループで障害物リレーと本気リレーをやるというものでした。このグループでは上級生がリーダーとなり指揮をとります。僕のグループでは最高学年である僕がリーダーを務めました。リーダーとして各競技に出る生徒の順番を決め、グループの管理を任されました。

しかし生徒会長としての役割とリーダーとしての役割以外にも僕には試練がありました。スポレクの三週間ほど前から僕はサッカーで左のハムストリングを怪我しており、走れない状態だったのです。整形外科では怪我が長引く可能性があると言われており、スポレク当日まで競技に参加できるか定かでは無かったのです。幸い前日までにはある程度走れるようになっており、競技に参加できました。僕は気を付けて怪我を悪化させないよう障害物リレーと本気リレーに参加しました。無事怪我の悪化もなく競技を終えることができました。

今年のスポーツレクリエーションでは三つの大きな試練がありました。生徒会長としての初の対面での挨拶、チームリーダーとしてのチームの指揮、そして怪我を悪化させず無事スポレクを終えることでした。この三つの試練を越え、チームとしては本気リレーで一位を取りとても充実した時間を過ごせました。















